

2013年4月30日

上越市長 村山秀幸様

上越地区平和環境労働組合会議
議長 牧田正樹

上越地区労働組合総連合
議長 布施辰夫

社会民主党上越協議会
代表 本城文夫

日本共産党上越地区委員会
委員長 上野公悦

高田城百万人観桜会における「自衛隊市中武装行動（パレード）」に対する抗議文

去る4月20日、「高田城百万人観桜会」が開催されている高田公園内の県道において、陸上自衛隊高田駐屯地の隊員約170人による「市中武装行動（パレード）」が行われました。

パレードは、迷彩服に小銃を携行し、さらに装甲車も参加するなど市民、観桜会観光客に対し威圧感を与える内容でした。新聞報道でも、観桜会に訪れた市民や観光客からは、「びっくりした」「なぜ、観桜会というイベントに銃を携行してパレードするのか」といった声が掲載されています。

これは、市民や県内外から多くの観光客が訪れる上越市の最も大きな観光イベントの一つである観桜会のイメージを損ねるばかりか、上越市が平成7年に行った「非核平和友好都市宣言」の主旨に反するものといわざるを得ません。

ついては、今回このような武装行動が行われたことに強く抗議するとともに、下記のとおり要請します。

記

1. 今回41年ぶりにこのような武装行動が行われた経緯と市としての総括を明らかにすること。
2. 今回の武装行動が「来年行われる高田開府400年を盛り上げる」ことも目的の一つと報道されていますが、上記をふまえ、今後このような武装行動を行わないこと。

以上